

佐賀県主要経済統計速報

(2 0 2 0 年 5 月 号)

目 次

1 概 況		
・佐賀県の動向	1 頁
(参考) 全国の動向	2 頁
九州の動向	3 頁
2 主要統計の動き		
(1) 個人消費	百貨店・スーパー販売額	4 頁
	乗用車新規登録台数	5 頁
(2) 住宅建設	新設住宅着工戸数	6 頁
(3) 公共工事	公共工事前払保証請負金額	7 頁
(4) 鉱工業生産	鉱工業生産指数	8 頁
	鉱工業出荷、在庫指数	9 頁
(5) 雇用労働	所定外労働時間数	1 0 頁
	有効求人倍率	1 1 ・ 1 2 頁
(6) 企業倒産	企業倒産件数、負債金額	1 3 頁
(7) 物 価	消費者物価指数	1 4 頁
(8) 金 融	金融機関別貸出残高	1 5 頁
	貸出約定平均金利	
(9) 人 口	人口、世帯	1 6 頁
3 佐賀県景気動向指数	1 7 頁

(注) 表中の p は速報値、 r は確報値を表す。

令和 2 年 (2 0 2 0 年) 5 月 2 9 日 発行

1 概況

佐賀県の動向

本県経済の最近の動向（対前年同月比）をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額（3月）は、全店販売額が2ヵ月振りに下回った。
乗用車新規登録台数（4月）は、6ヵ月連続で下回った。
新設住宅着工戸数（3月）は、5ヵ月連続で下回った。
公共工事前払保証請負金額（4月）は、4ヵ月連続で上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数（3月）は、6ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)（3月）は、7ヵ月連続で下回った。
- ・企業倒産（4月）の件数は1件減で、金額は4ヵ月ぶりに下回った。
- ・金融機関（銀行）貸出金残高（4月）は、3ヵ月連続で上回った。

項 目		対象月	数 値	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分	
県内 需要	個人消費	3月	百貨店・スーパー販売額	49億49 百万円	0.7%	10.7%
			全店販売額	-	1.1%	-
		乗用車新規登録台数	4月	1,566 台	29.6%	54.6%
	住宅建設	新設住宅着工戸数	3月	367 戸	24.0%	0.3%
	公共工事	公共工事前払保証請負金額	4月	280億37 百万円	24.7%	316.4%
生産	鉱工業生産指数（注）	3月	97.4	6.3%	3.5%	
雇用	所定外労働時間数指数 （事業所規模30人以上）	2月	89.9	19.6%	-	
	有効求人倍率・受理地別 （季節調整済）	3月	1.17 倍	0.13	0.03	
	有効求人倍率・就業地別（＃）	3月	1.38 倍	0.18	0.04	
企業 倒産	企業倒産 状況 （累計は年間ベース） （注）	倒産件数（当月）	4月	2 件	1件	3件
		＃（累計）		13 件	2件	-
		負債金額（当月）		40 百万円	3億08百万円	7億99百万円
		＃（累計）		25億85 百万円	18億57百万円	-
物価	消費者物価指数（佐賀市）	3月	102.4	0.7%	0.1%	
金融	金融機関（銀行）の貸出残高	4月	1兆3,313 億円	0.7%	0.1%	
人口	推計人口	4月	809,720 人	5,216人	2,737人	
	推計世帯数		314,102 世帯	2,789世帯	407世帯	
景気 動向 指数	先行指数	2月	35.0 %	-	-	
	一致指数		28.6 %	-	-	
	遅行指数		50.0 %	-	-	

（注）鉱工業生産指数の前年同期比は原指数、前月比は季節調整済指数を比較したものである。

（注）企業倒産状況の矢印は、数値と逆方向を示す。

(参考)

全国の動向

(1) 総論

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。

- ・個人消費は、感染症の影響により、急速な減少が続いている。
- ・設備投資は、このところ弱含んでいる。
- ・輸出は、感染症の影響により、急速に減少している。
- ・生産は、感染症の影響により、減少している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。企業の業況判断は、感染症の影響により、急速に悪化している。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱さが増している。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(2) 消費・投資等の需要動向

個人消費は、感染症の影響により、急速な減少が続いている。

設備投資は、このところ弱含んでいる。

住宅建設は、弱含んでいる。

公共投資は、底堅く推移している。

輸出は、感染症の影響により、急速に減少している。輸入は、感染症の影響は残るものの、このところ下げ止まりつつある。貿易・サービス収支は、赤字となっている。

(3) 企業活動と雇用情勢

生産は、感染症の影響により、減少している。

企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。

倒産件数は、増加がみられる。

雇用情勢は、感染症の影響により、弱さが増している。

(4) 物価と金融情勢

消費者物価は、横ばいとなっている。

株価（日経平均株価）は、19,200円台から20,100円台まで上昇した後、19,600円台まで下落し、その後21,200円台まで上昇した。対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、107円台から106円台まで円高方向に推移した後、107円台まで円安方向に推移した。

（以上、内閣府「月例経済報告（令和2年5月）」令和2年5月28日）

(5) 国の景気動向指数（令和2年3月分C I・平成27年=100）

- | | | | |
|-------|-------|-----|------------------|
| ・先行指数 | 84.7 | ・・・ | 前月と比較して7.2ポイント下落 |
| ・一致指数 | 90.2 | ・・・ | 前月と比較して5.2ポイント下落 |
| ・遅行指数 | 100.0 | ・・・ | 前月と比較して0.7ポイント下落 |

（以上、内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」（改訂値）令和2年5月25日）

(参考)

九州の動向

1 総論

九州・沖縄の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から悪化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。住宅投資は、高水準ながら貸家を中心に弱めの動きとなっている。輸出は、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。

こうした中で、生産は、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得は緩やかな増加基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が当地の企業や家計のマインドに与える影響等に留意する必要がある。

2 個人消費

- ・ 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。

3 住宅投資

- ・ 住宅投資は、高水準ながら貸家を中心に弱めの動きとなっている。
3月の新設住宅着工戸数は、貸家の減少を主因に前年を下回った。

4 公共投資

- ・ 公共投資は、高水準で推移している。
4月の公共工事請負金額は、その他公共的団体発注分の増加を主因に前年を上回った。

5 設備投資

- ・ 設備投資は、増加している。
3月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6 輸出

- ・ 輸出は、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。
3月の輸出額（九州経済圏）は、前年を下回った。

7 生産

- ・ 生産（鉱工業生産）は、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。

8 雇用・所得

- ・ 雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得は緩やかな増加基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。
労働需給をみると、有効求人倍率は低下している。
1月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

9 物価

- ・ 3月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（3月：+0.7%）。

10 金融

- ・ 3月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。
- ・ 3月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- ・ 4月の企業倒産をみると、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。

（以上、日本銀行福岡支店「九州・沖縄の金融経済概況（2020年5月）」2020年5月18日）

2 主要統計の動き

(1) 個人消費

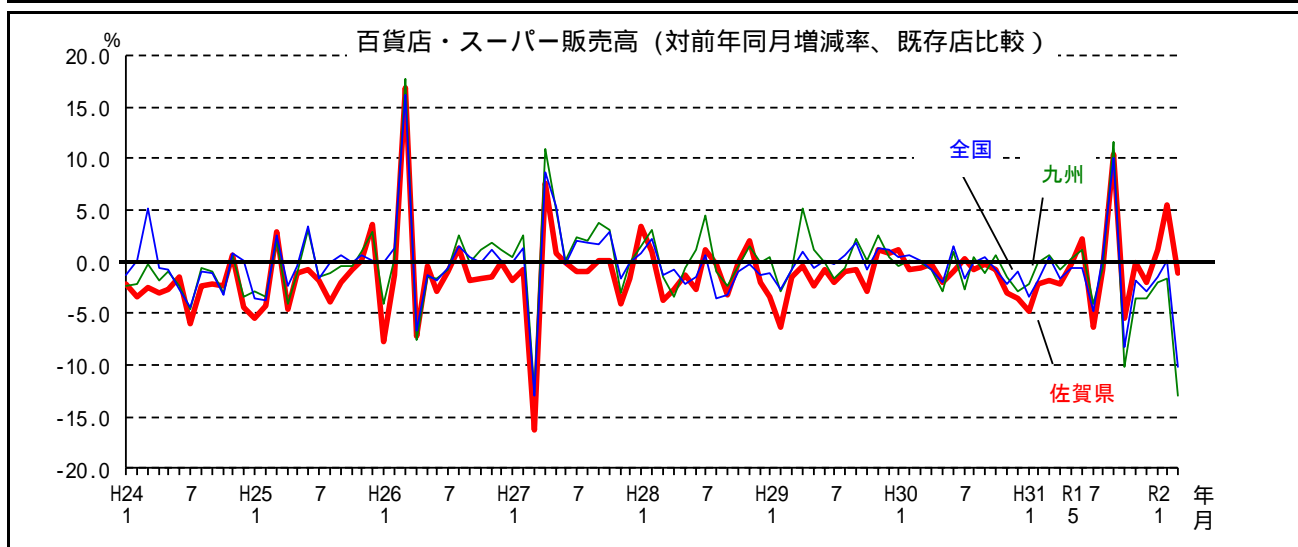
百貨店・スーパー販売額

(百万円、%)

年 月	佐 賀 県		対 前 年 同 月 増 減 率			
	全 店 販 売 額	前 月 比	佐賀県全店 (調整前)	既存店比較(店舗調整後)		
				佐賀県	九 州	全 国
平成26年	66,098		-1.7	-0.6	0.8	0.9
27	66,111		3.1	-1.8	0.8	0.4
28	65,250		1.4	-0.7	0.3	-0.9
29	64,840		-0.6	-1.5	0.5	0.0
30	62,821		-3.1	-1.0	-0.9	-0.5
平成30年 10月	5,112	8.7	-3.5	-0.8	0.6	-0.8
11	5,263	3.0	-5.9	-3.1	-1.4	-2.1
12	6,668	26.7	-6.0	-3.5	-2.8	-1.0
31年 1月	5,024	-24.7	-7.5	-4.8	-2.1	-3.3
2	4,402	-12.4	-5.2	-2.2	-0.1	-1.8
3	4,858	10.4	-7.1	-1.8	0.6	0.5
4	4,684	-3.6	-4.9	-2.1	-0.8	-1.7
令和元年 5月	4,788	2.2	-3.4	-0.3	0.3	-0.5
6	4,871	1.7	-0.8	2.2	1.1	-0.5
7	5,133	5.4	-9.4	-6.4	-4.0	-4.8
8	5,191	1.1	-3.7	-0.7	-0.6	0.4
9	4,938	-4.9	5.0	10.5	11.7	10.1
10	4,604	-6.8	-9.9	-5.4	-10.1	-8.2
11	5,101	10.8	-3.1	-0.1	-3.5	-1.8
12	6,314	23.8	-5.3	-2.0	-3.5	-2.8
2年 1月	4,909	-22.3	-2.3	1.2	-1.9	-1.5
2	4,469	-9.0	1.5	5.6	-1.7	0.2
3	4,949	10.7	-0.7	-1.1	-13.0	-10.1

九州経済産業局『九州百貨店・スーパー販売動向』、経済産業省『商業動態統計確報』九州には沖縄を含む。

平成27年7月速報より、旧専門量販店調査の対象であった事業所(家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター)が商業動態統計調査の対象に組み入れられ、統計の名称が「大型小売店販売動向」から「百貨店・スーパー販売動向」と変更された。また、スーパーの対象事業所が見直されたため、これらに関わる前年同月比較増減は、見直しに伴うギャップを調整するためのリンク係数(0.9445)で処理した数値で計算されている。



3月は、既存店(当年及び前年とも調査対象となった店舗)での比較は、前年同月比1.1%減となり、3ヵ月振りに前年同月を下回った。

全店(調査対象が新設の店舗を含む)の販売額は49億49百万円で前年同月比0.7%減となり、2ヵ月振りに前年同月を下回った。

(1) 個人消費 (続き)

乗用車新規登録台数

(台、%)

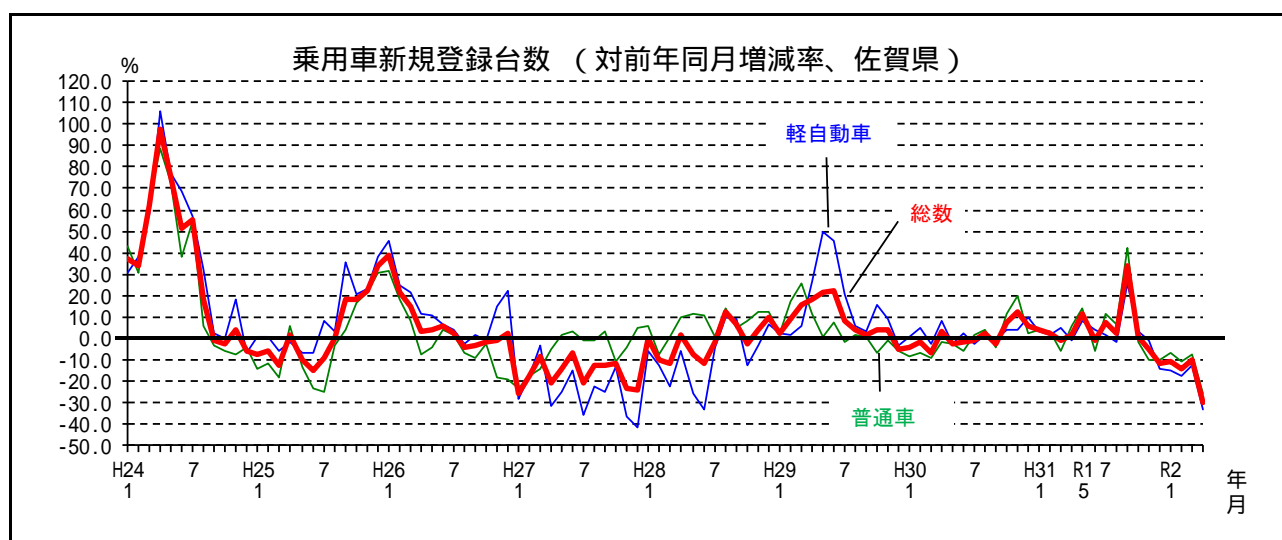
年 月	佐 賀 県				対前年同月増減率				
	総 数	前月比	普通車	軽自動車	佐 賀 県 総 数	普通車	軽自動車	九 州	全 国
平成27 年度	27,744		14,054	13,690	-13.8	-0.7	-24.2	-11.0	-7.6
28	28,831		15,663	13,168	3.9	11.4	-3.8	4.1	3.1
29	30,002		15,321	14,681	4.1	-2.2	11.5	4.7	2.5
30	30,655		15,561	15,094	2.2	1.6	2.8	0.7	0.3
令和元 年度	30,628		15,842	14,786	-0.1	1.8	-2.0	-5.0	-4.4
平成30 年 11 月	2,508	6.1	1,365	1,143	12.2	19.7	4.3	9.6	7.4
12	2,249	-10.3	1,148	1,101	5.8	2.4	9.7	-0.7	-3.3
31 年 1 月	2,573	14.4	1,252	1,321	4.0	4.5	3.4	0.6	0.9
2	2,952	14.7	1,510	1,442	2.3	3.3	1.3	-2.0	-0.1
3	3,825	29.6	1,966	1,859	-0.7	-5.4	4.9	-4.1	-5.3
4	2,223	-41.9	1,067	1,156	2.1	5.7	-1.0	-0.4	3.3
令和元 年 5 月	2,335	5.0	1,159	1,176	11.3	14.3	8.6	7.5	6.4
6	2,568	10.0	1,275	1,293	-0.7	-5.4	4.5	-0.4	-2.2
7	2,637	2.7	1,415	1,222	7.1	11.9	2.0	2.4	2.9
8	2,197	-16.7	1,178	1,019	2.8	6.7	-1.4	3.9	4.9
9	3,646	66.0	1,966	1,680	33.8	41.9	25.4	15.6	13.5
10	2,386	-34.6	1,181	1,205	0.9	-1.2	3.1	-22.8	-25.1
11	2,374	-0.5	1,236	1,138	-5.3	-9.5	-0.4	-12.3	-11.6
12	1,982	-16.5	1,034	948	-11.9	-9.9	-13.9	-12.0	-11.1
2 年 1 月	2,288	15.4	1,166	1,122	-11.1	-6.9	-15.1	-14.1	-12.1
2	2,541	11.1	1,345	1,196	-13.9	-10.9	-17.1	-12.9	-9.9
3	3,451	35.8	1,820	1,631	-9.8	-7.4	-12.3	-11.4	-9.0
4	1,566	-54.6	794	772	-29.6	-25.6	-33.2		

佐賀：日本自動車販売協会連合会福岡県自動車販売店協会、全国軽自動車協会連合会調

九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標(速報)』

普通車には小型車を含む。

九州、全国の指数(対前年同月増減率)は普通車と軽自動車の合計。九州には沖縄を含まない。



4月は、1,566台で前年同月比29.6%減となり、6ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は54.6%減となった。

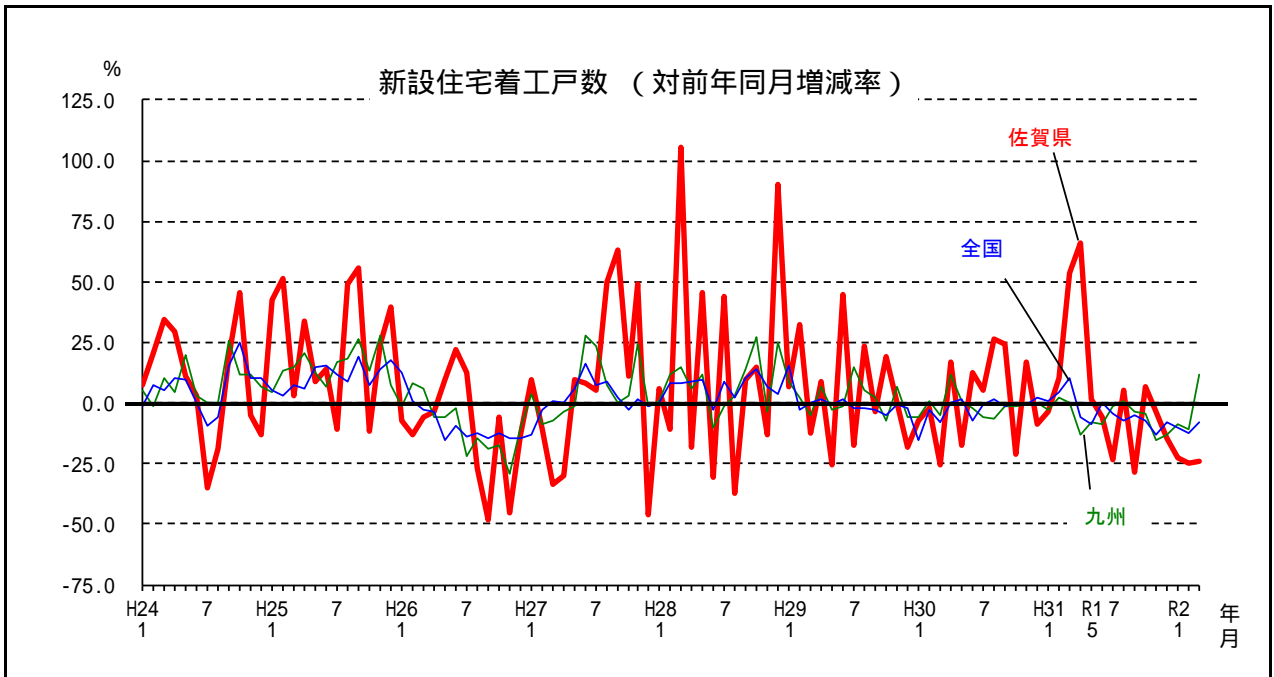
(2) 住宅建設

新設住宅着工戸数

(戸、%)

年 月	佐 賀 県			戸数対前年同月増減率			累計戸数対前年同月増減率		
	戸 数		累計戸数	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
		前月比							
平成27年			4,941				2.3	5.5	1.9
28			5,463				10.6	7.6	6.4
29			5,519				1.0	1.8	-0.1
30			5,574				1.0	-1.2	-2.5
令和元			5,673				1.8	-5.8	-4.0
平成30年 10月	477	-23.8	4,641	-21.0	-1.2	0.3	0.4	-1.4	-3.2
11	512	7.3	5,153	17.2	-0.7	-0.6	1.9	-1.3	-2.9
12	421	-17.8	5,574	-8.7	-0.1	2.1	1.0	-1.2	-2.5
31年 1月	384	-8.8	384	-3.3	-2.9	1.1	-3.3	-2.9	1.1
2	488	27.1	872	10.7	2.1	4.2	4.1	-0.3	2.7
3	483	-1.0	1,355	53.8	0.4	10.0	17.6	-0.0	5.2
4	645	33.5	2,000	66.2	-12.7	-5.7	29.9	-3.8	2.0
令和元年 5月	370	-42.6	2,370	1.4	-7.7	-8.7	24.4	-4.6	-0.3
6	552	49.2	2,922	-5.8	-8.7	0.3	17.3	-5.3	-0.2
7	441	-20.1	3,363	-23.2	-1.6	-4.1	9.7	-4.7	-0.8
8	498	12.9	3,861	5.3	0.5	-7.1	9.1	-4.1	-1.7
9	449	-9.8	4,310	-28.3	-3.5	-4.9	3.5	-4.0	-2.0
10	509	13.4	4,819	6.7	-4.0	-7.4	3.8	-4.0	-2.6
11	493	-3.1	5,312	-3.7	-15.0	-12.7	3.1	-5.1	-3.6
12	361	-26.8	5,673	-14.3	-13.2	-7.9	1.8	-5.8	-4.0
2年 1月	297	-17.7	297	-22.7	-8.5	-10.1	-22.7	-8.5	-10.1
2	368	23.9	665	-24.6	-10.6	-12.3	-23.7	-9.7	-11.2
3	367	-0.3	1,032	-24.0	12.0	-7.6	-23.8	-10.4	-9.9

国土交通省『建築着工統計』 九州には沖縄を含む。



3月は、367戸で前年同月比24.0%減となり、5ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は0.3%減となった。

(3) 公共工事

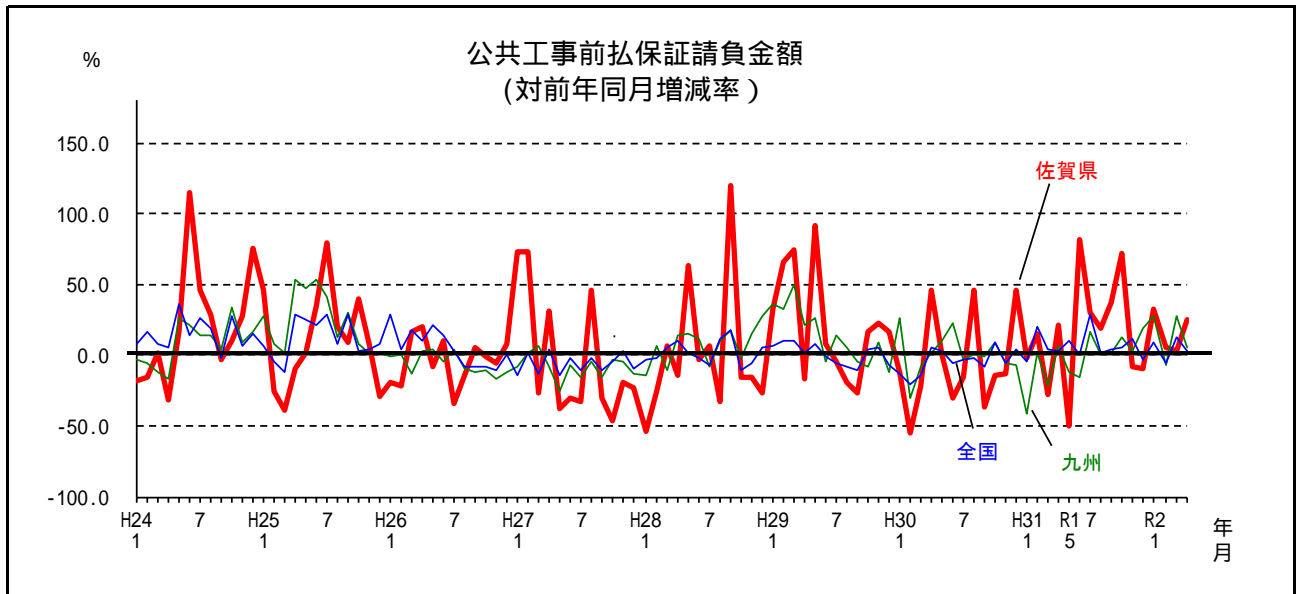
公共工事前払保証請負金額

(百万円、%)

年 月	佐 賀 県			請負金額対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率		
	請負金額		累計金額	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
		前月比							
平成27 年度			95,365				-18.3	-9.8	-3.8
28			106,339				11.5	16.7	4.1
29			101,665				-4.4	1.8	-4.3
30			100,880				-0.8	-2.9	1.1
令和元 年度			114,725				13.7	5.8	6.8
平成30 年 11 月	5,971	-10.2	78,128	-13.1	-5.6	-5.1	-1.6	4.1	-0.2
12	7,672	28.5	85,800	46.6	-6.5	4.6	1.4	3.3	0.1
31 年 1 月	4,710	-38.6	90,511	-1.8	-41.8	-4.1	1.3	-0.6	-0.1
2	3,857	-18.1	94,369	15.9	1.8	20.4	1.8	-0.5	0.9
3	6,511	68.8	100,880	-27.2	-21.6	3.7	-0.8	-2.9	1.1
4	22,481	245.3	22,481	21.9	6.7	2.5	21.9	6.7	2.5
令和元 年 5 月	8,018	-64.3	30,499	-49.5	-12.0	10.5	-11.2	-0.9	5.5
6	11,179	39.4	41,678	81.5	-15.7	1.0	2.9	-6.0	4.2
7	8,828	-21.0	50,507	29.8	16.5	28.5	6.8	-0.6	9.1
8	12,344	39.8	62,851	19.1	-0.0	2.2	9.0	-0.5	8.1
9	10,824	-12.3	73,676	37.8	2.0	4.6	12.5	-0.1	7.6
10	11,465	5.9	85,142	72.4	12.6	5.1	18.0	1.7	7.2
11	5,526	-51.8	90,668	-7.5	3.2	11.3	16.1	1.8	7.6
12	7,002	26.7	97,671	-8.7	18.9	-3.6	13.8	3.0	6.7
2 年 1 月	6,246	-10.8	103,917	32.6	27.4	9.6	14.8	4.2	6.9
2	4,074	-34.8	107,992	5.6	-6.7	-5.4	14.4	3.6	6.2
3	6,733	65.3	114,725	3.4	27.6	12.9	13.7	5.8	6.8
4	28,037	316.4	28,037	24.7	5.2	3.2	24.7	5.2	3.2

西日本建設業保証(株)

四捨五入の関係で累計額が内訳と一致しない場合がある。九州には沖縄を含む。



4月は、280億37百万円で前年同月比24.7%増となり、4ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は316.4%増となった。

(4) 鋳工業生産

鋳工業生産指数(季節調整済)

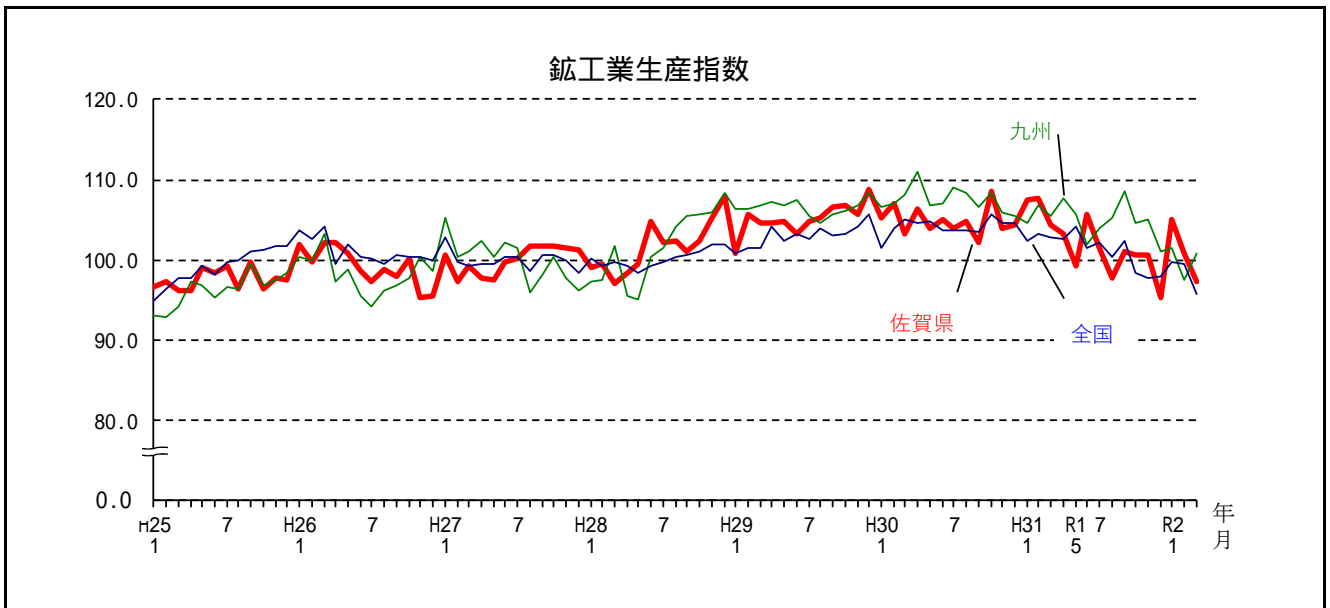
(%)

年月	指数			対前月増減率			対前年同月増減率		
	佐賀県 H27=100	九州 H27=100	全国 H27=100	佐賀県 H27=100	九州 H27=100	全国 H27=100	佐賀県 H27=100	九州 H27=100	全国 H27=100
平成26年平均	99.2	98.2	101.2				1.6	2.0	2.0
27	100.0	100.0	100.0				0.8	1.8	-1.2
28	101.5	101.6	100.0				1.5	1.6	0.0
29	105.3	106.5	103.1				3.7	4.8	3.1
30	104.9	107.5	104.2				-0.3	0.9	1.1
平成30年 10月	108.6	108.4	105.6	6.4	1.8	2.0	4.1	4.4	4.2
11	103.9	106.0	104.6	-4.3	-2.2	-0.9	-0.5	0.1	1.9
12	104.4	105.4	104.7	0.5	-0.6	0.1	-3.6	-3.9	-2.0
31年 1月	107.4	104.7	r 102.3	2.9	-0.7	-2.3	2.6	-1.8	0.2
2	107.6	106.9	r 103.3	0.2	2.1	1.0	-0.7	-0.1	-0.7
3	104.3	105.5	r 102.8	-3.1	-1.3	-0.5	0.7	-3.9	-4.1
4	103.2	107.6	r 102.7	-1.1	2.0	-0.1	-2.6	-2.7	-0.7
令和元年 5月	99.3	105.7	r 104.2	-3.8	-1.8	1.5	-5.9	-3.1	-1.9
6	105.6	101.9	r 101.5	6.3	-3.6	-2.6	-3.2	-6.4	-3.9
7	101.6	103.9	r 102.2	-3.8	2.0	0.7	-0.1	-3.2	0.8
8	97.7	105.2	r 100.5	-3.8	1.3	-1.7	-9.3	-5.5	-5.5
9	101.1	108.5	r 102.4	3.5	3.1	1.9	0.7	3.4	1.2
10	100.7	104.5	r 98.3	-0.4	-3.7	-4.0	-8.3	-4.7	-8.2
11	100.6	105.0	r 97.7	-0.1	0.5	-0.6	-4.8	-2.5	-8.5
12	95.2	101.0	r 97.9	-5.4	-3.8	0.2	-6.2	-1.6	-3.7
2年 1月	105.1	101.4	r 99.8	10.4	0.4	1.9	-2.6	-3.2	-2.4
2	100.9	r 97.6	r 99.5	-4.0	r -3.7	r -0.3	-6.0	r -7.1	r -5.7
3	97.4	p 100.7	p 95.8	-3.5	p 3.2	p -3.7	-6.3	p -3.1	p -5.2

佐賀：統計分析課『佐賀県鋳工業指数月報』平成27年=100

九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標(速報)』平成27年=100

年平均の指数及び対前年同月増減率は原指数。九州には沖縄を含まない。pは速報値、rは確報値を表す。



3月は、97.4で前年同月比6.3%減となり、6ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は3.5%減となった。

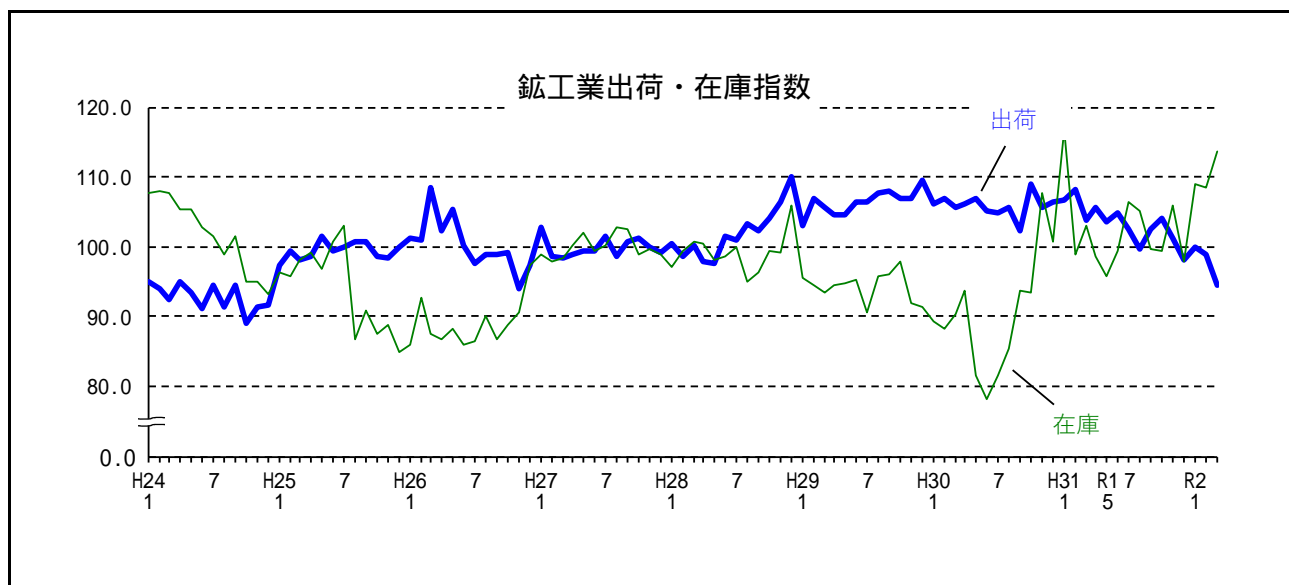
(4) 鋳工業生産(続き)

鋳工業出荷、在庫指数(季節調整済)

(%)

年 月	出 荷		在 庫	
	指 数	対前年同 月増減率	指 数	対前年同 月増減率
平成26年平均	100.4	1.0	88.9	-5.6
27	100.0	-0.4	100.0	12.5
28	102.0	2.0	98.9	-1.1
29	106.3	4.2	94.5	-4.5
30	106.0	-0.3	90.3	-4.4
平成30年 10月	109.1	4.4	93.5	-2.1
11	105.5	-1.0	107.7	20.5
12	106.3	-1.5	100.8	13.0
31年 1月	106.6	0.8	116.8	27.6
2	108.3	0.6	98.8	12.1
3	103.7	-3.0	103.0	12.5
4	105.7	2.3	98.7	3.4
令和元年 5月	103.6	-2.8	95.8	19.8
6	104.8	-3.6	99.4	33.0
7	102.6	-0.2	106.5	36.7
8	99.6	-7.5	105.2	27.7
9	102.4	1.9	99.7	6.3
10	104.1	-4.6	99.3	6.2
11	101.1	-5.8	106.0	-1.6
12	98.1	-6.1	97.9	-2.9
2年 1月	99.9	-6.7	108.9	-4.5
2	98.9	-10.4	108.6	9.9
3	94.4	-7.9	113.7	12.0

統計分析課『佐賀県鋳工業指数月報』平成27年=100
年平均の指数及び対前年同月増減率は原指数



(5) 雇用労働
所定外労働時間数

平成27年平均=100

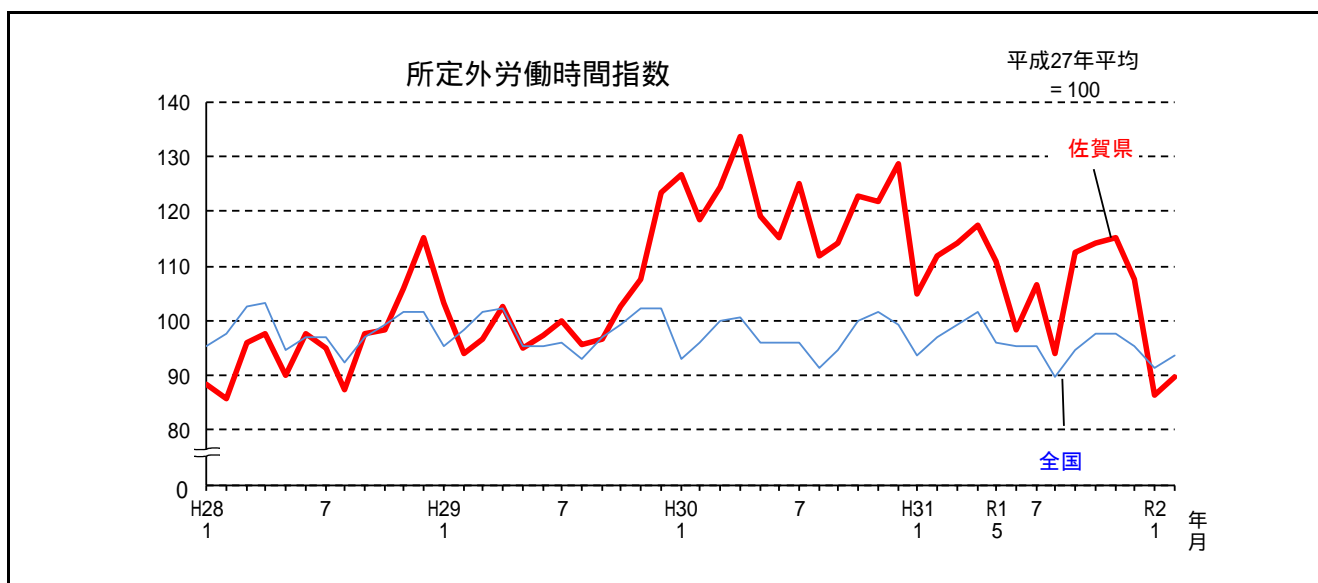
(時間、%)

年 月	所定外労働時間数		同 指 数		対前年同月増減率	
	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国
平成27年平均	11.9	12.9	100.0	100.0	-	-
28	11.4	12.7	96.3	98.3	-3.7	-1.7
29	12.1	12.7	101.3	98.2	5.2	-0.1
30	14.5	12.5	121.9	97.1	20.3	-1.1
令和元	13.0	12.4	109.0	96.1	-10.6	-1.0
平成30年 9月	13.6	12.2	114.3	94.6	18.3	-2.4
10	14.6	12.9	122.7	100.0	19.7	0.8
11	14.5	13.1	121.8	101.6	13.2	-0.7
12	15.3	12.8	128.6	99.2	4.1	-3.0
31年 1月	12.5	12.1	105.0	93.8	-17.3	0.9
2	13.3	12.5	111.8	96.9	-5.7	0.8
3	13.6	12.8	114.3	99.2	-8.1	-0.8
4	14.0	13.1	117.6	101.6	-12.0	0.8
令和元年 5月	13.2	12.4	110.9	96.1	-7.0	0.0
6	11.7	12.3	98.3	95.3	-14.6	-0.8
7	12.7	12.3	106.7	95.3	-14.8	-0.8
8	11.2	11.6	94.1	89.9	-15.8	-1.7
9	13.4	12.2	112.6	94.6	-1.5	0.0
10	13.6	12.6	114.3	97.7	-6.8	-2.3
11	13.7	12.6	115.1	97.7	-5.5	-3.8
12	12.8	12.3	107.6	95.3	-16.3	-3.9
令和2年 1月	10.3	11.8	86.6	91.5	-17.5	-2.5
2	10.7	12.1	89.9	93.8	-19.6	-3.2

佐賀：統計分析課『毎月勤労統計調査（地方調査）』（事業所規模30人以上）

全国：厚生労働省『 “ ” （全国調査）』（ “ ” ）（再集計値）

増減率は指数をベースとする。



2月は、89.9で前年同月比19.6%減となり、14ヵ月連続で前年同月を下回った。

(5) 雇用労働 (続き)

有効求人倍率(受理地別)(季節調整済) (倍)

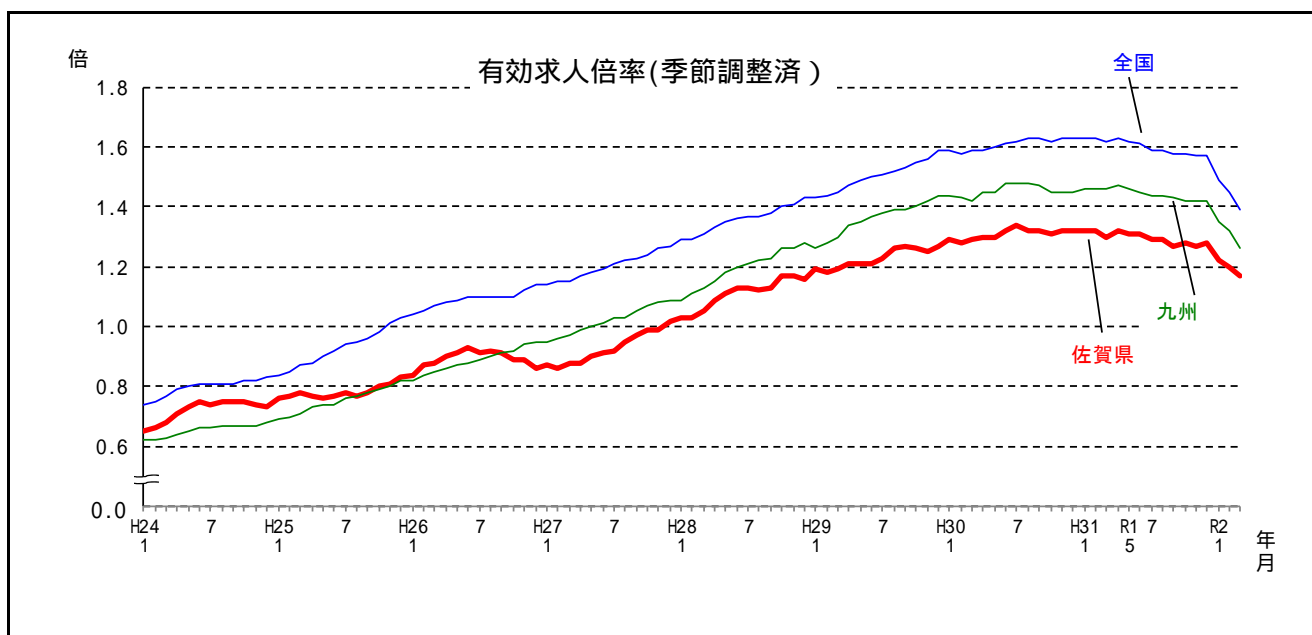
年月	有効求人倍率		
	佐賀県	九州	全国
平成26年度	0.89	0.92	1.11
27	0.97	1.05	1.23
28	1.15	1.24	1.39
29	1.25	1.40	1.54
30	1.32	1.46	1.62
平成30年 10月	1.31	1.45	1.62
11	1.32	1.45	1.63
12	1.32	1.45	1.63
31年 1月	1.32	1.46	1.63
2	1.32	1.46	1.63
3	1.30	1.46	1.62
4	1.32	1.47	1.63
令和元年 5月	1.31	1.46	1.62
6	1.31	1.45	1.61
7	1.29	1.44	1.59
8	1.29	1.44	1.59
9	1.27	1.43	1.58
10	1.28	1.42	1.58
11	1.27	1.42	1.57
12	1.28	1.42	1.57
2年 1月	1.22	1.35	1.49
2	1.20	1.32	1.45
3	1.17	1.26	1.39

佐賀労働局『一般職業紹介状況』
厚生労働省『一般職業紹介状況』
パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。
年度の数値は原数値。

地区別有効求人倍率(受理地別)(原数値) (倍)

年月	八ローワーク別有効求人倍率					
	佐賀	唐津	武雄	伊万里	鳥栖	鹿島
平成26年度	0.93	0.87	0.67	0.97	1.00	0.71
27	1.01	0.87	0.76	0.94	1.13	0.88
28	1.18	1.05	0.89	1.12	1.40	1.00
29	1.26	1.07	1.04	1.24	1.61	1.09
30	1.27	1.17	1.21	1.28	1.70	1.22
平成30年 10月	1.30	1.15	1.29	1.36	1.74	1.26
11	1.36	1.24	1.30	1.35	1.67	1.31
12	1.42	1.31	1.44	1.44	1.66	1.35
31年 1月	1.34	1.39	1.34	1.40	1.75	1.52
2	1.32	1.29	1.35	1.40	1.73	1.39
3	1.26	1.21	1.27	1.36	1.57	1.20
4	1.16	1.11	1.19	1.27	1.41	1.11
令和元年 5月	1.07	1.13	1.18	1.34	1.40	1.11
6	1.15	1.21	1.26	1.36	1.46	1.14
7	1.19	1.20	1.23	1.29	1.58	1.08
8	1.18	1.16	1.23	1.29	1.62	1.15
9	1.18	1.15	1.22	1.24	1.68	1.13
10	1.20	1.23	1.37	1.29	1.66	1.19
11	1.22	1.22	1.33	1.36	1.77	1.24
12	1.32	1.32	1.45	1.41	1.74	1.30
2年 1月	1.26	1.18	1.24	1.37	1.70	1.26
2	1.22	1.15	1.24	1.26	1.59	1.20
3	1.11	1.09	1.15	1.08	1.62	1.07

佐賀労働局『一般職業紹介状況』
パートタイムを含む。



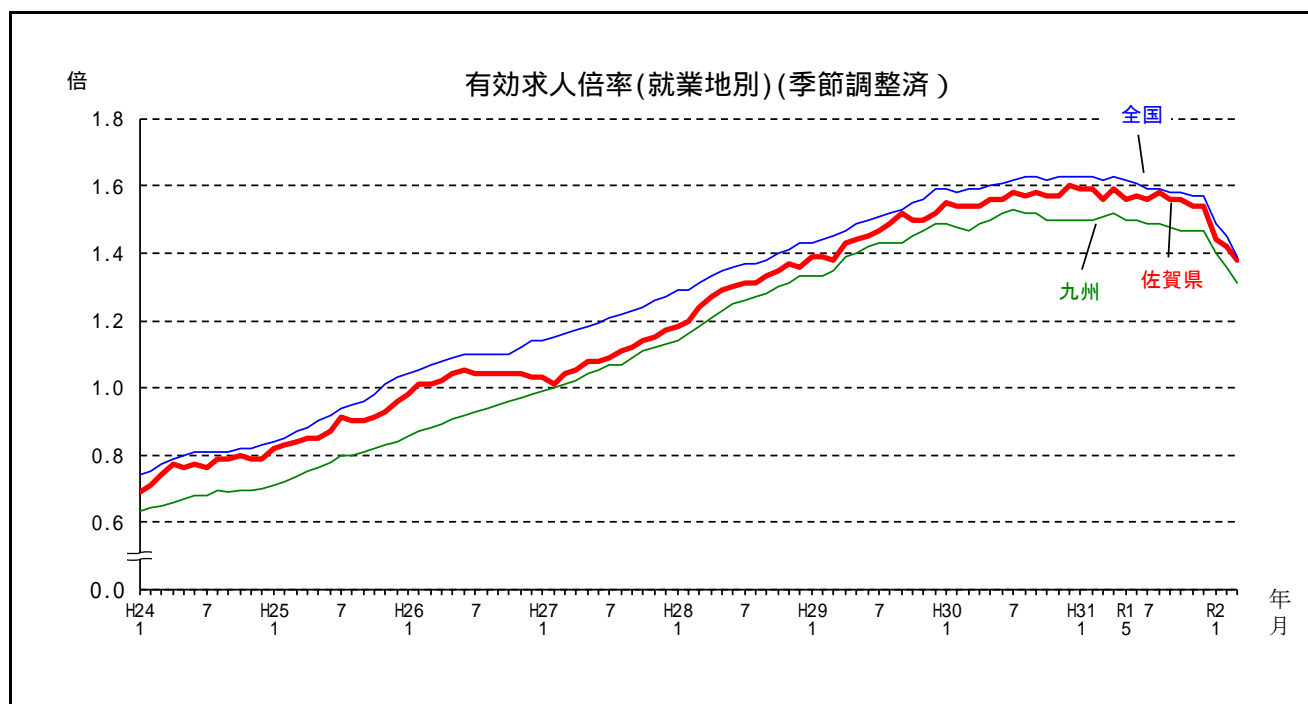
3月は、1.17倍で前年同月を0.13ポイント下回り、9ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は0.03ポイント下回った。

(5) 雇用労働 (続き)

有効求人倍率(就業地別)(季節調整済) (倍)

年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九州	全国
平成30年 10月	1.57	1.50	1.62
11	1.57	1.50	1.63
12	1.60	1.50	1.63
31年 1月	1.59	1.50	1.63
2	1.59	1.50	1.63
3	1.56	1.51	1.62
4	1.59	1.52	1.63
令和元年 5月	1.56	1.50	1.62
6	1.57	1.50	1.61
7	1.56	1.49	1.59
8	1.58	1.49	1.59
9	1.56	1.48	1.58
10	1.56	1.47	1.58
11	1.54	1.47	1.57
12	1.54	1.47	1.57
2年 1月	1.44	1.40	1.49
2	1.42	1.36	1.45
3	1.38	1.31	1.39

厚生労働省『一般職業紹介状況』
パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。



3月は、1.38倍で前年同月を0.18ポイント下回り、7ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は0.04ポイント下回った。

(6) 企業倒産

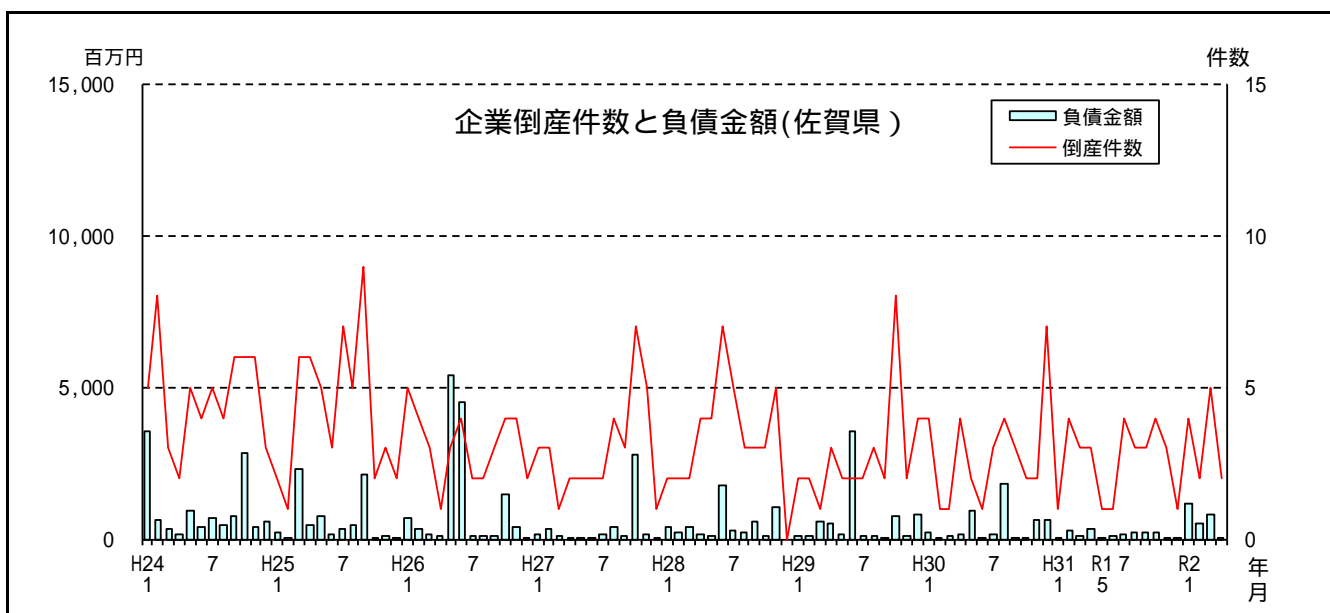
企業倒産件数、負債金額

(件、百万円、%)

年月	佐賀県				累計件数対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率		
	件数	累計件数	金額	累計金額	佐賀県	九州	全国	佐賀県	九州	全国
平成27年		35		4,468	-5.4	0.0	-9.4	-66.5	-16.8	12.7
28		40		5,300	14.3	-14.9	-4.1	18.6	13.1	-5.0
29		33		6,983	-17.5	-9.6	-0.5	31.8	-21.8	57.9
30		34		4,863	3.0	13.1	-2.0	-30.4	3.5	-53.1
令和元		31		1,770	-8.8	10.2	1.8	-63.6	-4.1	-4.2
平成30年 11月	2	27	657	4,201	-6.9	16.5	-1.2	-31.9	14.1	-49.3
12	7	34	662	4,863	3.0	13.1	-2.0	-30.4	3.5	-53.1
31年 1月	1	1	12	12	-75.0	34.8	4.9	-94.4	162.0	61.0
2	4	5	274	286	0.0	22.9	0.2	20.7	115.6	87.1
3	3	8	94	380	33.3	15.9	-6.1	18.4	44.7	40.9
4	3	11	348	728	10.0	8.2	-4.8	46.8	45.9	34.4
令和元年 5月	1	12	20	748	0.0	8.0	-5.8	-47.2	26.8	28.1
6	1	13	98	846	0.0	8.5	-3.8	-41.1	14.9	2.1
7	4	17	168	1,014	6.3	9.6	-1.2	-37.6	-4.7	-0.4
8	3	20	238	1,252	0.0	7.0	-1.3	-63.7	-20.8	-3.8
9	3	23	202	1,454	0.0	9.9	0.1	-58.5	-19.5	-9.3
10	4	27	214	1,668	8.0	7.0	0.8	-52.9	-22.7	-10.8
11	3	30	42	1,710	11.1	7.1	0.9	-59.3	-12.6	-9.7
12	1	31	60	1,770	-8.8	10.2	1.8	-63.6	-4.1	-4.2
2年 1月	4	4	1,158	1,158	300.0	8.1	16.1	9550.0	81.8	-25.9
2	2	6	548	1,706	20.0	14.7	13.5	496.5	60.6	-46.1
3	5	11	839	2,545	37.5	6.5	12.9	569.7	12.5	-34.5
4	2	13	40	2,585	18.2	8.0	13.5	255.1	8.4	-21.3

(株)東京商工リサーチ『全国企業倒産状況』

負債金額1千万円以上。九州には沖縄を含む。



4月は、倒産件数2件、負債金額40百万円、前年同月と比べて件数は1件減で、金額は3億08百万円下回った。また、前月と比べて件数は3件減で、金額は7億99百万円下回った。

(7) 物 価
消費者物価指数

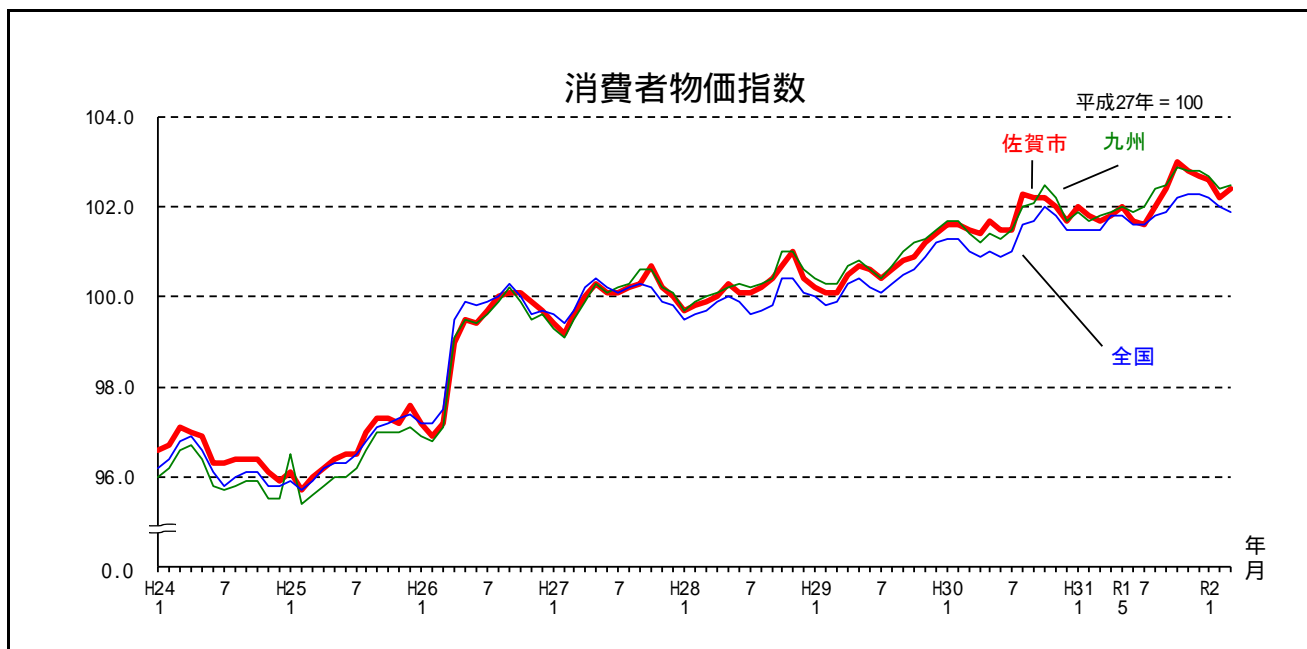
平成27年 = 100

(%)

年 月	指 数			対 前 月 増 減 率			対 前 年 同 月 増 減 率		
	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国
平成27年平均	100.0	100.0	100.0				0.9	1.1	0.8
28	100.2	100.3	99.9				0.2	0.3	-0.1
29	100.6	100.8	100.4				0.4	0.5	0.5
30	101.8	101.7	101.3				1.1	0.9	1.0
令和元	102.1	102.2	101.8				0.3	0.5	0.5
平成30年 10月	102.2	102.5	102.0	0.0	0.4	0.3	1.3	1.3	1.4
11	102.0	102.2	101.8	-0.1	-0.3	-0.3	0.9	0.8	0.8
12	101.7	101.7	101.5	-0.3	-0.4	-0.3	0.4	0.2	0.3
31年 1月	102.0	101.9	101.5	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2
2	101.8	101.7	101.5	-0.2	-0.1	0.0	0.1	0.0	0.2
3	101.7	101.8	101.5	-0.1	0.1	0.0	0.2	0.4	0.5
4	101.8	101.9	101.8	0.1	0.1	0.3	0.3	0.7	0.9
令和元年 5月	102.0	102.0	101.8	0.2	0.1	0.0	0.3	0.6	0.7
6	101.7	101.9	101.6	-0.3	0.0	-0.1	0.1	0.7	0.7
7	101.6	102.0	101.6	-0.1	0.0	-0.1	0.1	0.5	0.5
8	102.0	102.4	101.8	0.5	0.5	0.3	-0.2	0.4	0.3
9	102.4	102.5	101.9	0.3	0.1	0.1	0.2	0.4	0.2
10	103.0	102.9	102.2	0.6	0.4	0.3	0.8	0.4	0.2
11	102.8	102.8	102.3	-0.1	-0.2	0.1	0.8	0.6	0.5
12	102.7	102.8	102.3	-0.2	0.0	0.0	0.9	1.0	0.8
2年 1月	102.6	102.7	102.2	-0.1	-0.1	-0.1	0.6	0.8	0.7
2	102.2	102.4	102.0	-0.4	-0.2	-0.2	0.4	0.7	0.4
3	102.4	102.5	101.9	0.1	0.1	0.0	0.7	0.7	0.4

統計分析課『消費者物価指数』

九州には沖縄（那覇市）を含む。



3月は、102.4で前年同月比0.7%増となった。また、前月比は0.1%増となった。

(8) 金融

金融機関別貸出残高(佐賀県)

貸出約定平均
金利

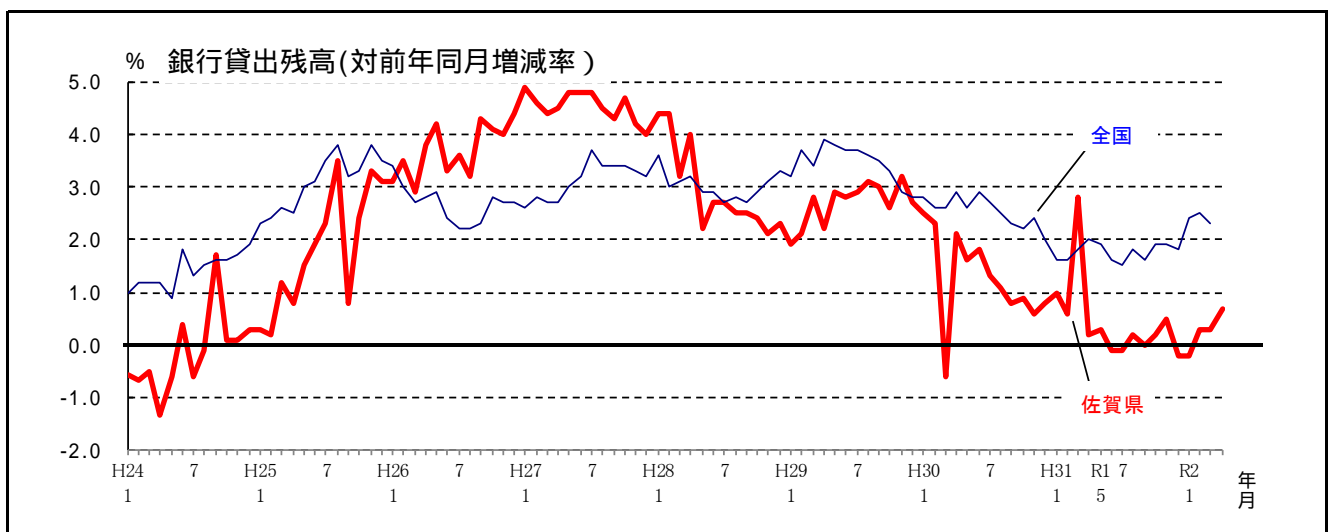
(億円、%)

(年利%)

年月末	合計					銀行対前年 同月増減率		年月	地方銀行 全国	
	銀行	信用 金庫	信用 組合	前月比	佐賀県	全国				
							前月比			
平成27年	15,494	12,611			2,275	608	4.0	3.2	平成27年	1.178
28	15,824	12,907			2,307	610	2.3	3.3	28	1.069
29	16,228	13,257			2,352	619	2.7	2.8	29	1.006
30	16,411	13,367			2,397	647	0.8	2.0	30	0.946
令和元	16,426	13,344			2,434	648	-0.2	1.8	令和元	0.898
平成30年 11月	16,233	13,223	0.3	2,368	642	0.6	2.4	平成30年 11月	0.952	
12	16,411	13,367	1.1	2,397	647	0.8	2.0	12	0.946	
31年 1月	16,337	13,305	-0.5	2,388	644	1.0	1.6	31年 1月	0.942	
2	16,319	13,288	-0.1	2,386	645	0.6	1.6	2	0.938	
3	16,351	13,287	-0.0	2,401	663	2.8	1.8	3	0.934	
4	16,251	13,222	-0.5	2,384	645	0.2	2.0	4	0.930	
令和元年 5月	16,254	13,236	0.1	2,380	638	0.3	1.9	令和元年 5月	0.924	
6	16,272	13,240	0.0	2,390	642	-0.1	1.6	6	0.919	
7	16,269	13,248	0.1	2,379	642	-0.1	1.5	7	0.914	
8	16,363	13,322	0.6	2,401	640	0.2	1.8	8	0.912	
9	16,280	13,229	-0.7	2,405	646	0.0	1.6	9	0.909	
10	16,250	13,211	-0.1	2,402	637	0.2	1.9	10	0.905	
11	16,345	13,290	0.6	2,417	638	0.5	1.9	11	0.904	
12	16,426	13,344	0.4	2,434	648	-0.2	1.8	12	0.898	
2年 1月	16,332	13,274	-0.5	2,420	638	-0.2	2.4	2年 1月	0.893	
2	16,375	13,324	0.4	2,411	640	0.3	2.5	2	0.892	
3	16,387	13,328	0.0	2,408	651	0.3	2.3	3	0.886	
4	16,381	13,313	-0.1	2,420	648	0.7				

佐賀：(一社)佐賀県銀行協会、佐賀県信用金庫協会、佐賀県信用組合協会提供
 全国：日本銀行『金融経済統計月報』
 暦年値は各年12月を採用。

全国：日本銀行『貸出約定平均金利の推移』
 貸出約定平均金利には当座貸越を含む。
 暦年値は各年12月を採用。



4月の銀行貸出残高は、1兆3,313億円で前年同月比0.7%増となり、3ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は、0.1%減となった。

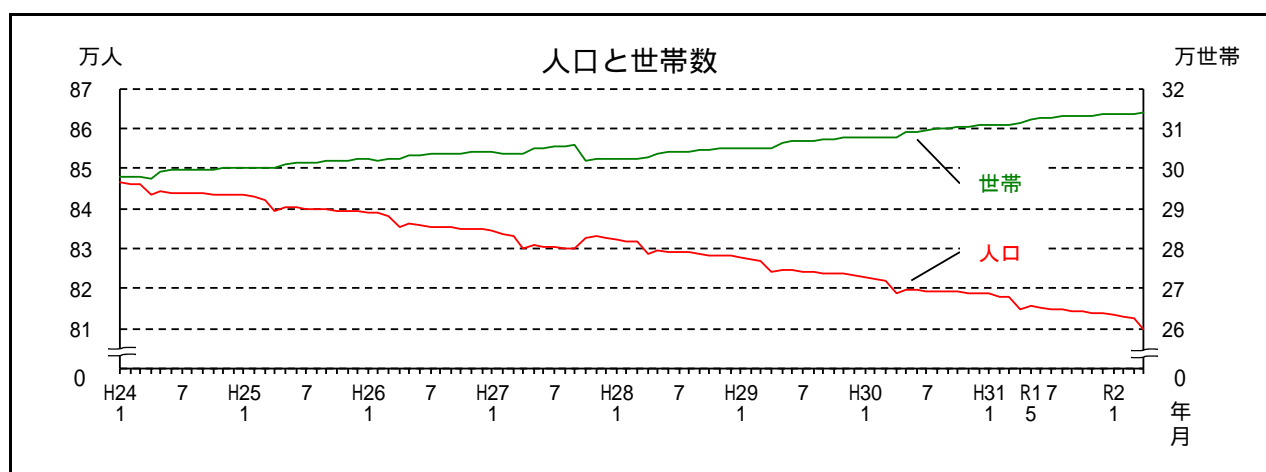
(9)人口
人口、世帯

年月	(人)			(世帯)		
	人口	対前月増減数	対前年増減数	世帯数	対前月増減数	対前年増減数
平成27年	832,832		-2,184	302,109		-1,699
28	828,388		-4,444	304,646		2,537
29	823,620		-4,768	307,514		2,868
30	819,110		-4,510	310,323		2,809
令和元	814,211		-4,899	313,132		2,809
平成30年 10月	819,110	-202	-4,510	310,323	179	2,809
11	819,011	-99	-4,661	310,684	361	2,812
12	818,752	-259	-4,574	310,808	124	2,892
31年 1月	818,626	-126	-4,424	310,903	95	2,951
2	818,099	-527	-4,408	310,865	-38	2,979
3	817,739	-360	-4,140	311,037	172	3,111
4	814,936	-2,803	-3,929	311,313	276	3,429
令和元年 5月	815,527	591	-4,119	312,326	1,013	3,315
6	815,164	-363	-4,401	312,566	240	3,224
7	814,781	-383	-4,645	312,745	179	3,096
8	814,681	-100	-4,752	313,020	275	3,063
9	814,433	-248	-4,879	313,049	29	2,905
10	814,211	-222	-4,899	313,132	83	2,809
11	814,036	-175	-4,975	313,408	276	2,724
12	814,025	-11	-4,727	313,712	304	2,904
2年 1月	813,590	-435	-5,036	313,742	30	2,839
2	813,170	-420	-4,929	313,810	68	2,945
3	812,457	-713	-5,282	313,695	-115	2,658
4	809,720	-2,737	-5,216	314,102	407	2,789

統計分析課『佐賀県の推計人口』

27年の人口・世帯数は国勢調査の確定値。

年値は各年10月1日現在、月値は各月1日現在。



(人口) 4月は、809,720人で、前年同月比5,216人の減少となり、平成9年5月以降連続して、前年同月を下回った。また、前月比2,737人減少した。

(世帯) 4月は、314,102世帯で、前年同月比2,789世帯の増加となった。また、前月比407世帯増加した。

3 佐賀県景気動向指数

1 令和2年2月の動向

- ◆ 先行指数 **35.0%** …… 3か月連続で50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **28.6%** …… 3か月連続で50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **50.0%** …… 2か月連続で50%となった。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(0)	
《先行系列》 採用系列数 10 拡張系列数 3.5 指数 35.0	鉱工業在庫率(生産財・逆) 企業倒産件数(逆) 不渡手形金額(逆)	2か月振り 8か月振り 2か月連続	所定外労働時間数 新規求人数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 新設住宅着工戸数 銀行貸出残高(☆)	3か月連続 3か月連続 6か月振り 5か月連続 4か月連続 3か月連続	手形交換金額(☆)	-
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 2.0 指数 28.6	就職率 大型店売上高(☆)	2か月振り 2か月連続	有効求人倍率(就業地別) 鉱工業生産指数(総合) 鉱工業出荷指数(総合) 着工建築物床面積(産業用) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	4か月連続 2か月振り 3か月連続 2か月連続 4か月振り		
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 3.0 指数 50.0	雇用保険受給実人員(逆) 陶磁器生産重量 鉱工業在庫指数(総合)	3か月連続 2か月連続 2か月連続	常用雇用指数 消費者物価指数(☆) 銀行預貸率	9か月連続 2か月連続 12か月連続		

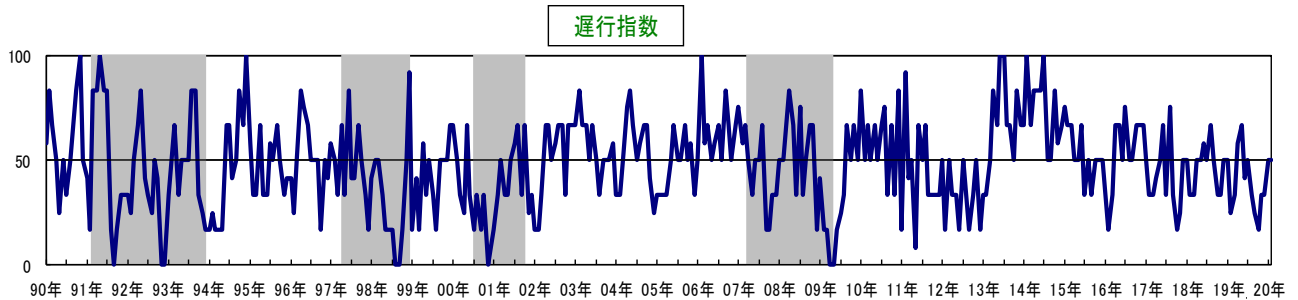
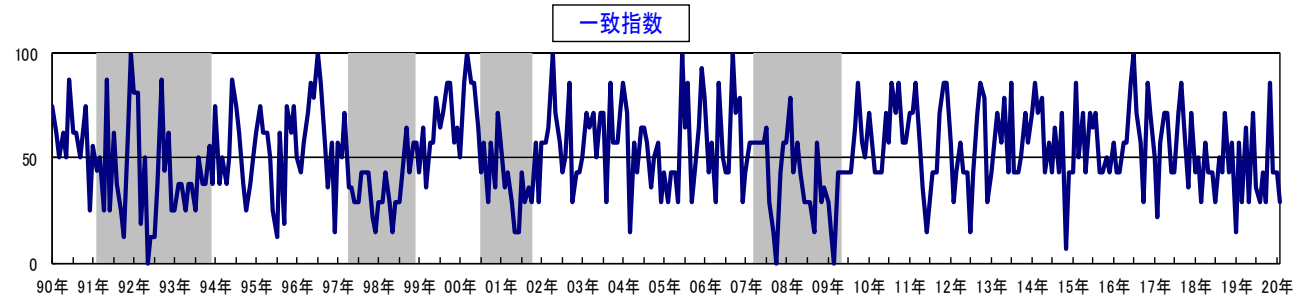
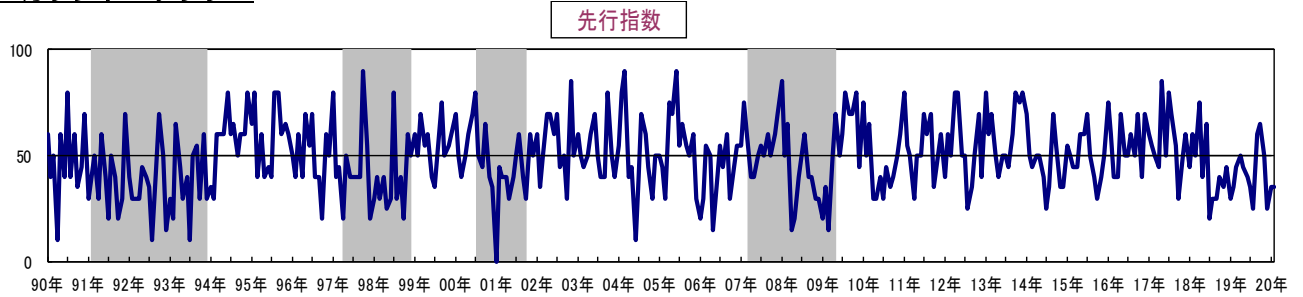
(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

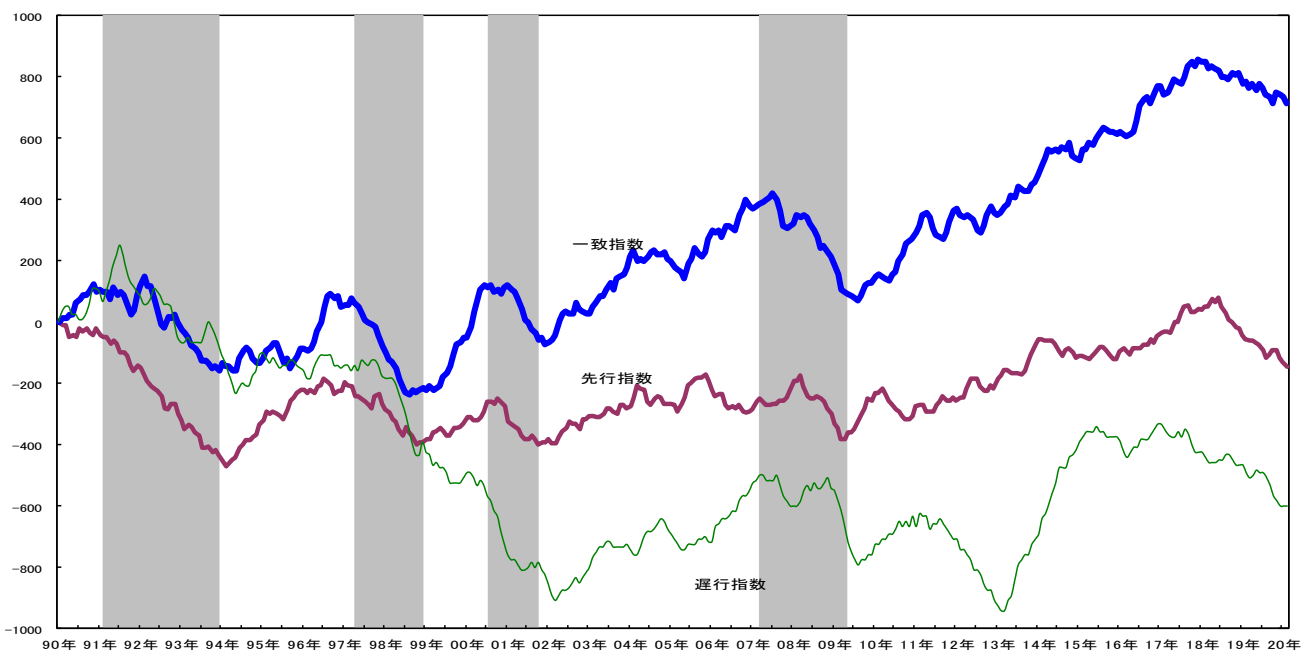
景気動向指数 (DI : Diffusion Index) の見方

- ★ DIは、景気の動きを各種の指標によって総合的にとらえようとするもので、各系列で採用指標のうち3か月前と比較して増加している系列(+)が何%を占めているかを表したものです。
各系列において、指数の計算方法は次式によります。
指数 = (「+」の指標数 + 0.5 × 保ち合い「0」の指標数) ÷ 当該採用指標数 × 100
- ★ DIには3つの指標があり、それぞれ下記のような特徴があります。
 「先行指数」 …… 景気に対し先行して動き、景気の先行きを予測する。
 「一致指数」 …… 景気に対しほぼ一致して動き、景気の現状を示す。
 「遅行指数」 …… 景気に対し遅れて動き、景気の動きを確認する。
- ★ 一致指数が基調的に50%を上回って推移している時期は景気拡張期、50%を下回って推移している時期は景気後退期と判断します。
なお、値そのものの大きさは景気変動の大きさないし振幅を示すものではありません。

カレントDIグラフ



累積DIグラフ



シャドー部分は景気後退期を示す。

$$\text{今月の累積DI} = \text{先月の累積DI} + (\text{今月のDI} - 50)$$